

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587060702	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	b11世界のことばの多様性 / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)等の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる((1)(8)(11))。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる((1)(8)(11))。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる((2)(10))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み 30点 内容理解確認小テスト(平均点数) 20点 提出課題(平均点数) 20点 定期試験 30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】授業の内容に対する学生の理解を確認するために定期的実施する小テストのための復習と、数回提出を求める異なる言語のある特徴を比較する小レポートの執筆。(1コマ当たり2時間)		
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論、長崎県・九州地方の方言		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3～4回	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5～6回	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7～8回	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9～10回	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11～12回	「言語行為」(speech acts)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13～14回	時制(テンス)と相(アスペクト)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587067501	科目番号 / Course code	05870675
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16431_005		
授業科目名 / Course title	b11陶磁器からみた文化の多様性 / Diversity of the Culture from View Point of Ceramics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようにすることが授業の目的である。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点 (合計点を50~70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜、プリントを配布し、教科書は使用しない。参考書は授業の進捗に応じて紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1/2回	考古学入門
第3/4回	水中考古学入門
第5/6回	陶磁考古学
第7/8回	沈没船研究
第9/10回	青のテーマ、海のシルクロード
第11/12回	海外輸出された伊万里（1）
第13/14回	海外輸出された伊万里（2）
第15回	最終試験またはレポート

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587507702	科目番号 / Course code	05875077
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15731_005		
授業科目名 / Course title	b11世界の中のヨーロッパ / European Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜4限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヨーロッパは、国家間で物、人、サービス、資本が自由に移動できたり、共通の人権規範が適用されたりする領域を創設しており、世界でもっとも地域統合が進んでいる地域となっている。本講義では、ヨーロッパの国家間における物・人の自由移動のルール・事例と、一般的な国家間における物・人の移動のルール・事例とを比較する。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパで行われている地域統合が、世界やその他の地域で行われている統合の動きとどのように異なる特徴を備えているのかを、学生が理解し、将来の日本・アジア地域の方向性について考えることができるようになる (DP-1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 (14%)、試験 (86%) によりますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減点があります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、LACS上のレジュメを事前に読んでください(2H)。講義中の講師の説明で疑問点が解けない場合は、講師に質問してください。事後学習として、講義資料(レジュメ、ノート)を見返し、重要な点は何か、疑問点がないかを確認してください(2H)。疑問が解けない場合、講師に質問してください。		
キーワード/Keywords	EU法、国際法、国際経済法、国際人権法、憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	レジュメをもとに講義を行います。教科書指定はありません。参考書は適宜講義時に紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	法律の未修者でも理解できるようにしますので、特に受講要件はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	世界中でグローバル化や地域統合に反発する動きが高まっています。そのような中で、世界でもっとも地域統合が進んでいるヨーロッパを参考に、グローバル化や地域統合の意味を再確認してみましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	講師が在ミラノ日本国総領事館・派遣員時代に体得したEU法・国際法の知見を教育内容に反映している
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	地域統合の段階： ...WTOによる貿易の自由化から、自由貿易協定（FTA）等の、経済統合の段階を比較し、EUによる地域統合の位置づけを確認します。
第2回	物の移動のルール?@： ...日本およびEUと関税との関係を規律するGATTのルールと、EUのルールを比較します。
第3回	物の移動のルール?A： ...日本とGATTの内国民待遇原則、およびEUの差別的国内税の禁止のルールを比較します。
第4回	物の移動のルール?B： ...日本とEUにおける数量制限の禁止を規定するGATTとEUのルールを比較します。
第5回	物の移動のルール?C： ...日本とEUにおける差別的措置および数量制限と同等の効果を有する措置に対するGATTとEUのルールを比較します。
第6回	物の移動のルール?D： ...日本とEUにおける貿易障壁とその正当化に関するGATTとEUのルールを比較します。
第7回	国際法（WTO法）とEU法の違い： ...日本におけるWTO法と、EUにおけるEU法がどのように適用されるのかを比較します。
第8回	人の移動のルール?@： ...日本を含む、一般的な国家間の人の移動のルールを確認します。
第9回	人の移動のルール?A： ...日本を含む、一般的な国家における外国人の扱いのルールを確認します。
第10回	人の移動のルール?B： ...EUによる国境管理と人の移動のルールを確認します。
第11回	人の移動のルール?C： ...EU加盟国間の人の自由移動のルールを確認します。
第12回	人の移動のルール?D： ...日本とEU加盟国による難民の扱いの相違を確認します。
第13回	世界の地域統合： ...EUのみならず、NAFTAやメルコスール等の地域統合について勉強します。
第14回	TPP協定（11）および日EU経済連携協定： ...TPP協定および日EUの経済連携協定についての内容について勉強し、その意義を考えます。
第15回	定期試験